2024年度 昭和女子大学 大学院入学試験　2月期 文学研究科 言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程　日本語教育講座（外国人留学生入試）	氏名	
小論文　問題用紙（１／１）	受験番号	採点

問　近年、日本語教育でも学習者主体のアクティブラーニングが推奨されるようになり、多くの教師たちは日本語の授業に「グループ学習」を取り入れるようになりました。一方で、従来型の教師主導の授業スタイルを主とし、「グループ学習」をほとんど採用しない教師も少なくありません。

（１）日本語の授業にグループ学習を取り入れることには、どのような「期待」が考えられますか。教師と学習者のそれぞれの視点から述べなさい。
（２）教師主導の日本語の授業において、教師が「グループ学習」を採用しないことには、どのような理由があると考えますか。

設問（１）（２）に分けて、自分自身の学習経験、あるいは教育経験を踏まえて具体的な例を挙げながら述べなさい。

解答は、別紙＜解答用紙＞に記述してください。記述は、内容的妥当性、文章の構成・論理性、日本語の観点から評価します。問題用紙の以下のスペースはメモに使っても構いません。

2024年度 昭和女子大学 大学院入学試験　2月期 文学研究科 言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程　日本語教育講座（外国人留学生入試）	氏名							
小論文　解答用紙（１／２）	受験番号							採点

設問（1）（2）に分けて記述しなさい。

2024年度 昭和女子大学 大学院入学試験　2月期 文学研究科 言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程　日本語教育講座（外国人留学生入試）	氏名	
小論文　解答用紙（２／２）	受験番号	採点